

ジョシュア・ボールドウィン

JAPN 320SL

この一学期で僕は人生で一番サービスについて学びました。過去に宣教師として働いて、その経験が僕にサービス体験をくれましたがこのクラスで自分の社会的な位置が有利と引き換えにその有利に恵まれていない人たちのことを考え、それをどのように変えられ、皆を同じ位の立場というか知識を得るチャンスをどうやったら与えられるかを考えさせました。僕はこのクラスを取る前に第二言語を学ぶのは別にそうなりたいしたこと無いと思っていましたが、色々記事を読んで、実際小学校へ行って子供達に他国の文化について教えて彼らの世界的意識がどれくらい広げられたかを見てから第二言語や外国の文化を学ぶ大切さに気づきました。

僕が行っていたサイトは J.C. Crumpton 小学校で、教えたグループは三つのグループに分けられた 1 年から 5 年生の生徒達でした。彼らは全員性格が違ったが、皆は日本や日本文化に興味を持ってくれました。皆のその興味の表し方はそれぞれ違っていたが本当に興味を持っていたから僕は嬉しく思えました。教えたレッスンは挨拶と号令、折り紙、福笑い、鬼の面、食卓での行儀、こいのぼり、動物と色でした。そのレッスンの中に日本とアメリカの違いと共通点について教えました。レッスンは時々よくて時々もっと上手くいけたはずですけどこの経験によって僕たち 4 人は人間としてそして教師として成長しました。そして

僕達が教えた学生達ももっと他国のことを知って世界はどれだけ大きいが、皆に共通点があり、それがこの地球を小さくし皆をある程度つないでいるということに気づいてくれたと思います。

正直、僕は社会的な意識とか人間関係について深く考えることがあまり好きじゃなかったんです。そのせい、自分のアイデンティティやエクイティについて考えたことが無かったです。ですからこのクラスのアウトカムについて考えさせた時は非常に難しかったです。今でも上手く出来るかどうかはよく分からないんですが頑張ります。

とりあえずアウトカム 1 としては自分が抱いていたステレオタイプについては学生たちに教えてもらいました。そのステレオタイプと言うのは小さい子供に対してのでした。小学校でサービスマーケティングしないといけないと聞いた時、子供を教えることを面倒くさく思った。子供は集中力が無いから僕たちの話かレッスンを聞いてくれないしきつとなにも学ばないだろうと思っていましたが実際にやって皆がちゃんと聞いて、そして自分で勉強しようとしていることに気づいた時に僕はそのステレオタイプのせいで特権を生徒達から奪っていたことに気づきました。僕は最初から生徒達に全力を尽くして教えたら彼らはもっと学べたはずです。

2はそのサービスはどれ程必要かという事を気づきました。僕たちが自分を築きどのように振舞うか決めて生徒達がそれに気づいて自分のコミュニティに

持って帰ると思うんです。生徒達は僕たちがどのように世界を思っているかを見てその意見や知識を僕たちから取って自分の人生に取り入れることを実感しないといけなかった。ですから僕達がやっていたことや教えたことは生徒達だけではなく、彼らの周りにいる人たちにも影響を及ぼす。ですから、僕たちは短期的に生徒達教えられたが彼らが学んだことはある程度一生影響を及ぼし続けるといいです。

このコミュニティとソーシャルジャスティスの部分は面白いと思うんです。普段学校で第二言語や他の国の文化について学ぶ機会がない生徒達を教えました。がその子達は初めて日本語専攻のサービスラーナーに教えられたわけじゃないし、僕たちは学校の生徒全員を教えなかったですから本当のソーシャルジャスティスじゃないと思う。確かに **snowball effect** が起こる可能性はあって彼らがもっと知識を得て未来にもっと平等な社会を作ることが出来るかもしれないが、それもまだ分からないんです。僕たちがまだ仕方なく不平等に知識を教えているからエクイティとインエクイティとして取ることが出来る。

で最後に多国文化のコミュニティを作り上げるには僕たちが生徒達に自分らの社会に特権の不平等に気づきもらわないとなんの変化も起こらないと思います。彼らが他人には無かった多国文化を学ぶ機会があったということを知らなければ未来にその不公平な特権を変えることが出来ない。ですが、今学んだことを

利用して自分が得た知識で多国文化や言語に興味を持って自分の国にもっと知識を得る機会を求めようになるだろう。

僕が前に言ったように、このトピックは自分にとって非常に難しいですし僕は何が言いたいのも多分理解しがたいけど、僕はこのクラスで色々学んで新しいことを気づくことが出来ました。このエッセイが期待通りにいかなかったらお詫びしますが僕にこのクラスを取る機会に感謝しています。小学校に行って子供を教える機会によって僕は小学生を教えることは面倒くさいだろうというステレオタイプから開放されました。そしてこの経験によって僕は小学校の低学年でも教えてもいいかなと思うようになりました。